

ステップアップを応援！ 樋口さんの成長ストーリー

第一工事部
施工管理

ひぐち ともまさ
樋口 智雅さん

2024年1月に異業種から転職してきた樋口さん。前職と業界が近く、知識や経験を活かして働けるのでは、と小澤製作所の門を叩きました。入社後も勉強と努力を重ね、お客様や職人さんたちとの信頼関係を構築。苦労した点や成長の秘訣などを伺いました。



転職や入社のきっかけ

入社前に話を聞く機会があり、安心して入社を決意

勤めていた会社の経営が難しくなり、本来やるべきこととは違う業務を担当するようになって転職を考えていたときに、株式会社小澤製作所と出会いました。プラントの運転や設備管理、設備導入や施工などに携わっていたため、自身の経験を活かしながら働けるのでは、と思い入社を検討。入社前の懇談会や見学会で話をする中、「ぜひ来てください」と温かい言葉をいただいたことで入社を決めました。

小澤製作所での成長

任される業務が増え、着実にステップアップ

入社以来、常駐先のお客様の工場で、設備の修繕やメンテナンス業務を担当しています。

成長の道のり

入社
初期

先輩社員に同行し、現場での業務を通じて仕事の進め方を学びました。不明な点は都度確認しながら、着実に知識と経験を積み重ねました。

入社
半年後

お客様からの信頼も得られるようになり、直接依頼をいただく機会も増えました。

現在

一人で案件を担当することも増え、責任ある立場で業務に取り組んでいます。

未経験の業種に飛び込んで苦労したこと

お客様や職人さんとの信頼関係づくり

前職ではプラントにトラブルがあれば作業を「発注」する立場でしたが、小澤製作所の仕事は「受注」する仕事。ミスが続けば信頼を失い、仕事を任せてもらえなくなるため、お客様との信頼関係づくりには苦戦しました。また、一緒に働く40名近い職人さんたちとの信頼関係も重要で、信頼がないと親身になって動いてもらうことが難しく

なります。わからないことがあれば業務後に調べたり、前日に現場を見て事前準備を行ったりと、知識を身につけることに注力しました。少しずつ経験を積み、過去の事例からも推測できるようになってきましたが、まだまだお客様や職人さんたちとの信頼関係を構築している最中です。

One more step!

樋口さんのステップアップ

1級管工事施工管理技士取得を目指し、見事合格！

研修会に出席することができ、無事資格取得をすることができました。資格を取得できたことで、業務の自信に繋がりました。



工事責任者に就任予定

これまでは責任者の補佐という立場で仕事をしていましたが、**2025年8月からは工事責任者として関わることとなりました。**まだまだ知らないことがあるため、勉強しながら精進していきたいと思います。

今後の意気込み

日々の努力を積み重ねて精進

もう少し先の目標としては、機械設備のプロフェッショナルを目指すつもりです。最低限、どのような質問にも応えられるような状態になりたいと思います。



マネジメント の コツ

管理職になると、それまでとは違った難しさを感じる場面が多々あるでしょう。この記事では、製造本部の深見さんにご自身のマネジメント職に就いた初期の頃を振り返っていただき、陥りやすいつまずきポイントやその対策について伺いました。



製造本部 深見 英司さん

マネジメントのコツ 初級編



つまずきポイント1

人に物事を伝える難しさ

指示を出す立場として気をつけるべきことの1つは、「相手の立場で話をする」ことです。自分の立場からの都合を押し付けるだけでは、反発を招いてしまいます。また、聞き手の立場がそれぞれ違う場合、同じ説明をするだけでは理解に差が出てしまうこともあります。人によって、理解しやすい言葉が異なるためです。さらに、相手が理解できているか、お互いの解釈を確認せずに進めようと、作業後にミスが発覚する事態が起こりやすくなります。



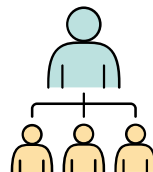
対策

組織全体をまとめ、一丸となって目標に向かわせるためには、それぞれの立場や状況を理解することが必要です。部下や職人さんたちと密にコミュニケーションを取り、都度、伝えたいことへの相手の理解度や受け取り方にずれがないかを確認することで、作業効率も上がります。また、すり合わせた内容は議事録を作成するなど、後から確認できる形にしておくことが望ましいです。お客様からの依頼も記録を取り、施工手順の確認は言葉だけでなく



つまずきポイント2

自分で動いてしまう



管理職は指示を出す必要がありますが、マネジメントに不慣れなうちは、指示を出すことにつまずきやすいものです。自ら動いた方が早く、相手に伝えるという難しさもないため、つい自分で全てを行ってしまうとすのです。また、指示はできても、その後の状況確認やフォローが漏れ、結果的に部下が仕事に追われる状況も起こりがちです。

対策

部下が自分の状況を伝えやすい上司であるかどうか、また言いやすい環境を整えているかどうかという点に目を向ける必要があります。普段から周囲との関係を築き、状態を把握し合うことで、お互いの仕事がスムーズに運ぶようになるのではないのでしょうか。



＼マネジメント初期の失敗談／

「受け取られ方」に目を向けなかった結果……

私は見た目が強面な上、現場では音に指示が消されないうような大きな声で話します。そのため、これまでに何度も「怒っている」と勘違いされたこともありました。また、職人さんへの伝え方に問題があり、指示したつもりの内容と異なる加工が施されていた経験もしてきました。

先輩に相談したときにもらったのが、「言葉は力」というフレーズです。伝え方一つで違う結果につながることを肝に銘じ、意図した内容を相手に受け取ってもらえるためにはどうしたら良いか、今も試行錯誤しながら業務に取り組んでいます。



ご家族からの声

日々業務に勤しむ我々を支えてくれる、ご家族からいただいた声を、ご紹介します。

＼こんなのがあったら良いな！福利厚生／

いずみパーキング
割引券

書籍購入補助
(業務関連書籍や自己啓発本など)

小澤製作所へMessage

エキシブへ宿泊をしました。

この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

職場の環境や皆様のご理解のおかげで、安心してリフレッシュする時間を持つことができました。